

8 15 平和への誓い新たに 戦没者追悼式



市主催の戦没者追悼式が総合福祉センターで厳かに執り行われ、先の大戦での戦争犠牲者の冥福を祈るとともに、恒久平和への誓いを新たにしました。

式には遺族や関係者約130人が参列。全員で黙とうを捧げた後、同時刻に行われた全国戦没者追悼式での天皇陛下のお言葉を拝聴しました。小田木市長は「悲しい歴史を繰り返すことなく、子どもたちの笑顔が絶えない高萩市を目指します」と式辞。

高萩市高校生会の三浦美理さんと宇佐美里湖さんは、「戦争を経験した方から直接お話を聞ける最後の世代として、平和への思いを行動に移していきたい」と誓いました。

8 19 飲んでまわって抽選会 ドリンクラリー&夜まるしえ

高萩市商工会主催のドリンクラリーが今年も盛大に開催されました。参加者の皆さんはドリンクラリーのチケットを購入し、参加店舗のなかから5店をハシゴ。各店舗でワンドリンクと自慢の一品を肴に、楽しく飲んでほろ酔い気分で抽選会場に集結。抽選会場の夜まるしえでは、夜店の屋台やサイコロゲームで小さなお子さんからお年寄りまでが大盛り上がり。

ドリンクラリーの抽選会が始まると会場は熱気に包まれました。豪華賞品をゲットした当選者は、賞品を片手に夜の街に再び繰出し、夜遅くまで賑わいを見せていました。



8 21 世界に広がる!けん玉 世界の技を体験



放課後子ども教室の夏休み特別活動「けん玉体験教室」が、松岡児童クラブの児童と一緒に松岡小学校で行われました。

子どもたちにけん玉を教えてくれたのは、2014けん玉ワールドカップで日本人最高位の世界第3位に輝いた秋元悟さん。

デモンストレーションで世界の技をみた子どもたちは、目を輝かせて講師の繰出す様々な技を真似していました。その後、けん玉認定会に挑戦し、日本けん玉協会認定証が授与されました。

この事業は、スミセイアフタースクールプロジェクトの協力により実施されました。

8 26 みんなで育む地域の絆 第37回向洋台納涼盆踊り大会

「地域のつながりが薄れているといわれて久しい昨今、向洋台団地はがんばっているよ」と話された自治会長の三好さん。その言葉どおり向洋台児童公園で行われた納涼盆踊り大会は、地域住民のみなさんが集まり大盛況。出張うまるしえの屋台や地域の出店もあり、家族で楽しむ姿がたくさん見受けられました。

本格的に組まれたやぐらの上では、子供会や大人たちによる祭囃子が響き渡り、時間が経つにつれて自然と踊りの輪が広がっていきました。



8 26 高萩市総合防災訓練

災害時に自助・共助・公助のそれぞれの役割のもとに連携を図り、地域の防災力向上を目指し実施する防災訓練。今年は「大型で非常に強い台風が接近し、大雨特別警報・洪水警報が発令された」との想定で、市内15か所の会場で一斉に行われ、約2400人の参加者がありました。

メイン会場となった東小学校では、土砂に埋まった本物の自動車からの救出訓練や、茨城県防災ヘリコプターによる屋上避難者救出訓練なども行われました。

そのほか、茨城県や高萩市と災害協定を結んでいる企業などのブースの設置や自衛隊の特殊車両の展示、起震車による地震体験、消防ポンプを利用した放水など、参加者が自ら体感できる訓練が行われ、参加した市民の防災意識の高揚が図られました。



本物の自動車を使った救出訓練



茨城県防災ヘリコプターによる救出訓練

8 30 きれいな花が街を彩る 花壇コンクール表彰式

高萩市市民憲章推進協議会が主催する「美しい環境づくり花壇コンクール」の表彰式が総合福祉センターで行われ、下記の団体がそれぞれの賞を受賞し、会長の小田木市長から表彰されました。

その後、審査員を務める蛭田さん、矢吹さんから、応募いただいた26団体の花壇の講評があり、来年の参考にしようというメモを取る姿が見受けられました。

【団体・職場の部】

最優秀賞：アラヤ地区の環境を守る会

優秀賞：常陽銀行高萩支店

【小・中・高の部】

最優秀賞：高萩中学校

優秀賞：高萩小学校

【幼・保の部】

最優秀賞：第一幼稚園

優秀賞：秋山幼稚園



9 7 100歳の節目を祝い 小田木市長が訪問

9月18日の敬老の日を前に、小田木市長が今年100歳を迎える市内の高齢者を訪問し、内閣総理大臣からの褒状と記念品などを贈りお祝いしました。

今年度市内で100歳の節目を迎えるのは9人。

大正6年生まれの高保田武志さんの健康の秘訣は「食べ物に好き嫌がなく、何でも食べる」こと。

同居されている息子さんは「父は巨人戦をテレビで見るのが好きで、100歳を迎える今でも自分のことは自分でやっている」と教えてくれました。

平田喜栄子さんはデイサービスに通うのが大好き。「デイサービスに行くとみんなとお話ができて楽しい」と話してくださいました。



9 5 新庁舎に寄贈 常陽銀行と高萩建設協会から



(株)常陽銀行から新庁舎に飾る絵画の寄贈を受けました。寄贈いただいた絵画は、福島県出身の洋画家大輪信雄の「白木蓮」という作品です。

寄贈式においていただいた常陽銀行の寺門取締役頭取は「新庁舎は震災からの復旧・復興のシンボルとなるもの。白木蓮の花言葉は「気品、高潔な心」で新庁舎にふさわしい作品だと思います」とごあいさつ。小田木市長は、「復興のシンボルとなる新庁舎は、まちづくりの拠点となるもので、できるだけ多くの市民に作品をご覧いただきたい。花言葉のとおり品格を持って、職員一同努力していきたい」と答えました。

また、同日、高萩建設協会の中野章会長と山川武美副会長が新庁舎に設置する展示用ガラスケースの寄贈にお見えになりました。

中野会長はガラスケースの目録を市長に手渡し「協会が日頃からお世話になっている高萩市に少しでも貢献したい。新庁舎で役に立ててほしい」とご挨拶。小田木市長は、「協会には防災訓練や環境美化活動などでもお世話になっている。ガラスケースは新庁舎の1階に設置して賑わい創出に活用し、市民に愛される庁舎を目指します」と答えました。



9 10 新庁舎をお披露目 市役所新庁舎竣工式典(今月の表紙)

式典は午前11時から執り行われ、選挙区選出の国会議員をはじめ近隣市町村長などの来賓や各種団体等の代表者など、192人のご出席をいただきました。

小田木市長は「新庁舎はまちづくりの拠点として市民の皆さまに親しまれ、利用して頂けるよう、職員一同市民の皆さまの期待に応えられるよう努力をしていきたい」と決意を表明。

ご来賓の祝辞をいただいた後、新庁舎建設にあたり御尽力をいただいた皆さまに感謝状の贈呈を行い、その後、市内の小学校4校の代表児童とともにテープカットを行いました。

植樹能市の皆さんとツツジの



新庁舎敷地南側には、友好都市の花を植栽するゾーンがあり、山形県新庄市からは山尾市長と小野市議会議長が新庄市の花「アジサイ」を、埼玉県飯能市からは大久保市長と野田市議会議長ほか関係者が飯能市の花「ツツジ」の記念植樹を行いました。

新庁舎では9月19日から業務を開始しています。

市民の皆さんが自由に利用できるラウンジや市街地から太平洋を一望できる展望ロビーもありますので、ぜひ市役所にお立ち寄りください。



新庄市の皆さんとアジサイの